

松岡良明賞

平塚氏(川崎)表彰

放射線治療で実績

がん征庄月間(9月)に合わせ、がん撲滅に功績のあった個人、団体を顕彰する山陽新聞社会事業団の第24回「松岡良明賞」の贈呈式が6日、岡山市北区柳町の山陽新聞社であり、川崎医科大学(倉敷市松島)放射線腫瘍学教授の平塚純一氏(64)＝川崎医療福祉大医療技術学部診療放射線技術学科長＝をたたえた。

事業団の松田正己理事長が表彰状と賞金100万円を手渡した。平塚氏は「根治とともに、生活の質(QOL)を維持できるがん治療を心掛けてきた。大学関係者ら支えてくれた皆さんに感謝したい」と述べた。平塚氏は放射線治療の専門家。川崎医科大学付属病院で乳がんや前立腺がんの治療に多く携わってきた。新しいがん治療法として注目されている「ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)」の臨床研究では頭頸部がん治療などで実績を挙げ、2011年から4年間、日本



松田理事長から松岡良明賞を贈呈される平塚氏(左)

中性子捕捉療法学会の会長を務めた。

松岡良明賞は山陽新聞社の元社長、故松岡良明氏の遺族から寄託された基金をもとに創設。佐々木勝美相談役が1千万円を寄託し、増額された。岡山県健康づくり財団が審査、事業団が決定している。(伊丹友香)

取材に動画